

報道関係各位

2019年2月18日

株式会社エネット

# 新電力のリーディングカンパニー エネット、SDGs の取り組みを発表

株式会社エネット(本社:東京都港区、代表取締役社長:川越祐司、以下、エネット)は、2015 年に「国連持続可能な開発サミット」で採択された「持続可能な開発目標(SDGs)」に賛同し、SDGs の達成に向けた取り組みを当社ウェブサイトを通じて発表しましたので、お知らせいたします。

エネットは、お客さまの環境保全ニーズに応えるサービスの提供及び事業活動における環境負荷軽減を通じて、SDGs の達成に貢献していきます。

具体的な事例として、 $CO_2$ 排出量を低減できる「グリーンメニュー」や、エネットが開発した AI による省エネルギーサービス「Ennet eye」などを提供しています。また、本社オフィスで使用する電力を FIT 電気と非化石証書を組み合わせ実質  $CO_2$ 排出量ゼロとすることで、事業活動に伴う  $CO_2$ 排出量を低減(オフセット)しています。

エネットでは、これまでの取り組みが「SDGs」の下記の 5 つの目標の達成に貢献できると考えており、「SDGs」への賛同と取り組みを 2019 年 2 月 18 日(月)に、当社ウェブサイトで発表いたしました。











すべての人々の、 安価かかつ信頼で きる持続可能な近 代的エネルギーへの アクセスを確保する 強靭(レジリエント)なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る

包摂的で安全かつ 強靭(レジリエント)で持続可能な 都市及び人間住 居を実現する 持続可能な生産 消費形態を確保 する

気候変動及びその 影響を軽減するた めの緊急対策を講 じる

今後もエネットは、エネルギーと ICT を組み合わせた新たな価値を提供し、持続可能な社会に貢献してまいります。



【参考】

# 【エネットの SDGs 取り組み概要】

•URL: https://www.ennet.co.jp/about/sdgs.html

#### 【取り組み1】

#### ■グリーンメニューの提供

近年 CO2 削減の気運が世界的な高まりを見せている中、当社は 通常メニューよりも CO2 の排出量を抑えた「グリーンメニュー |を提供し ており、「NTT ファシリティーズイノベーションセンター」や、「がすてなーに ガスの科学館」などに、この電気を供給しています。

(参考: https://www.ennet.co.jp/about/green.html)



### 【取り組み2】

## ■ Ennet eye の提供

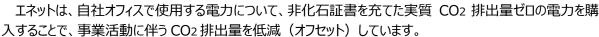
エネットが開発した、日本初の AI による省エネルギーサービス「Ennet eye」は、 電気使用量、気象情報、料金情報など様々なデータを AI が解析し、店舗やビルの 実態にあった省エネ対策をタイムリーに配信することで、お客様の省エネへの取り組みを サポートしています。

(参考: http://www.ennet.co.jp/about/enneteye.html)



### 【取り組み3】

■事業活動に伴うCO<sub>2</sub>排出量オフセット



エネットが調達した再生可能エネルギーの固定価格買取制度(以下、FIT)による電力を、エネット本社 が入居するビルに供給しています。この FIT 電力に非化石価値取引市場から購入した非化石証書を組み合 わせることで、実質 CO<sub>2</sub>排出量ゼロの電力を実現しました。

この電力をエネット本社で使用することで、事業活動に伴う CO<sub>2</sub> 排出量を低減しています。

(参考: https://www.ennet.co.jp/news/detail?news\_id=117)

















